

社会福祉充実残額算定シート（社会福祉法人恩陽会）令和7年度

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	748,861,105
負債 (b)	199,256,905
基本金 (c)	327,751,000
臨時補助金等特別積立金 (d)	77,634,701
合計 (a - b - c - d)	144,218,499

- 手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務情報等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。（不明の場合は、記載要領に従って入力してください）
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額	
合計 (a)	541,053,240

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉推進推進施設整備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	9,252,000
1年以内返済予定リース債務	3,112,560
社会福祉推進推進施設整備資金借入金	0
設備資金借入金	63,633,000
リース債務	7,220,400
合計 (b)	83,217,960

項目	金額
財産目録合計 (a)	541,053,240
対応負債合計 (b)	83,217,960
対応基本金 (c)	319,541,000
臨時補助金等特別積立金 (d)	77,634,701
合計 (a - b - c - d)	60,659,579

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用															
財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価上昇率				自己資金比率				合計額	
						①建設工事費 デフレター	②1㎡当りの単価上昇率			③一般約自己 資金比率	④建設時自己資金比率		⑤、⑥のいずれか 高い方の率		
							一般約1㎡当たり 単価 (a)	当該建築物の建設時の取得 単価 (b)	建設時延べ床 面積 (c)		d / (b/c)	d/b			
															⑤、⑥のいずれか 高い方の率
建物（第二作銀帳）	1986				249,095,205	1,619	370,000	322,170,517	-	27%	-	-	27.0%	106,886,966	
建物（第一作銀帳）	1986				233,002,158	1,619	370,000	289,233,709	-	27%	-	-	27.0%	101,892,233	
						-	370,000		-	-	27%	-	27.0%	-	
						-	370,000		-	-	27%	-	27.0%	-	
						-	370,000		-	-	27%	-	27.0%	-	
合計							370,000						27.0%	210,739,219	

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(3) 設備・車両等の更新に必要な費用	
合計	446,511,145

項目	金額
将来の建設費用	210,739,219
大規模修繕に必要な費用	23,413,882
設備・車両等の更新に必要な費用	446,511,145
合計	680,664,246

4. 「必要な運転資金」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	353,656,313	12	3	88,414,078

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	-	12	12

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特典適用
活用可能な財産	144,218,499		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	60,659,579		
再取得に必要な財産	680,664,246		
必要な運転資金	88,414,078		
計算の特典	-		
合計	-685,510,000	829,737,903	※「5. 計算の特典」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択すること。

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-685,510,000
社会福祉充実計画策定財源	0
合計	-685,510,000